

【関連する職種(一般の呼称)】	
保温工、配管工、製罐(せいかん)工、板金工、溶接工	
【石綿製品(代表的な2,3)】	
石綿パッキング・ガスケット	石綿保温材・煙突材・石綿フェルト
石綿織物・布・ひも・ロープ・テープ・リボンなど	石綿含有電気隔膜
【労災認定事例(p111)】 24-26	【文献(p116,122)】 28-34,111



【産業の概要】日本の重化学産業界は石油精製や関連多業種をはじめ物づくり精神に溢れています。物をあみ出す(研究)、作り出す(製造)等には装置(プラント)が必要となります。



巨大な装置産業。熱風・熱源等が通る配管には断熱材が、建物には石綿含有製品が使用され、また素材への添加物として石綿が混入され、ばく露の可能性があります。



石油精製、化学プラント関係では多種多様な石綿製品が使用されていました。配管保温材・シール材などメンテナンス工事の際の、ばく露対策は重要です。



制御室、監視室、計器室など呼び方はさまざまですが、製造の中核部です。床の石綿含有ビニル床タイルや天井の岩綿化粧板等、石綿含有建材に囲まれています。建材の劣化、破損、修理等によってばく露の可能性があります。



バッテリー室(電源室)。ソーダ工業・硫安工業なども含め、電気隔膜に石綿板・石綿織物が使用されていました。電気隔膜の交換時にばく露する可能性があります。

建築用の塗料や接着剤には、石綿含有製品が複数ありました。塗料等では薄く伸びずに一部が固まる「液ダレ」現象がおきると困るのですが、白石綿を添加すると塗料が良く伸び、液だれが防止されるので使用したそうです。



【作業概要】塗料工場の2階で、塗料用の様々な色のドラム缶が置かれています。暗くてわかりにくいのですが、1階に数種類の塗料製造用の機械がおかれ、2階から原料が投入されます。



塗料を混合し製造する機械の上部です。



塗料を混合し製造する機械の原料投入口を開けた所です。機械の中は回転して原料が混ぜられ、青や黄色や水色の各種の塗料が製造されています。袋詰めされた白石綿を開封し、この投入口から投入するのですが、投入時にはさっと白い粉が飛んだそうです。

掲載した写真はイメージ写真です